ちいきのげんきを発信中！

第1回全国公募『丹の里（まごころ）ありがとう！感謝のメッセージ』入賞作品集⑫

全国から寄せられた心温まるメッセージ349点の中から入賞作品を紹介します。

私は、夏休みに昼ご飯を毎日作りました。

最初は、

「かん単だなぁ」

と、思っていたけど、だんだん、

「めんどくさいなぁ」

と、思ったり、

「何を作ったらいいのかなぁ」

と、考えたりしてきました。

でも、いつもご飯を作ってくれているお母さんは、文句ひとつ言わないで、作ってくれています。いつもあたりまえだと思っていることをやってみたら、けっこうむずかしいんだなぁと思いました。

いつもあたりまえにご飯を作ってくれるお母さんに「ありがとう」を言いたいです。

兵庫県丹波市　山本　歩美（一一歳）

ディスカバー！丹波のきらめき企業 Vol.16

市内には、世界で活躍する企業やオンリーワンのものづくり企業、日本有数の優れた加工技術を持つ企業など、私たち市民が誇れる魅力にあふれた企業や事業所がたくさんあり、多くの方がそこで誇りを持って働いています。このコーナーでは、そんな市内のきらめき企業や事業所をみなさんにご紹介していきます。

Panaracer パナソニックポリテクノロジー株式会社

健康志向や環境への配慮、何よりも風をきって走る爽快感・・・さまざまな理由から自転車を楽しむ人たちが増えています。自転車通の間ではおなじみのタイヤブランド「パナレーサー」。製造しているのは、パナソニックポリテクノロジー（株）です。丹波で操業を開始して約半世紀、「メイドイン丹波」のタイヤを製造し続ける会社です。

★丹波から世界へ

ひと口に「自転車」と言っても、普段使いのものやマウンテンバイク用、ロードレース用など、用途はさまざま。自転車走行の用途に合わせ、特長あるタイヤが求められるなか、グリップ力や耐パンク、耐摩擦など、材料の配合技術や加工技術を追求していった結果、「パナレーサー」は日本だけでなく世界でもトップクラスの技術を誇っています。それは、日本のブランドとして初めて「ツール・ド・フランス（世界最大級の自転車レース）」で使用された実績からも、そのすごさが伝わってきます。昨年からは、ラジコンカーのタイヤやホイール、ギアの開発もスタート。日々進化し続けています。

★自転車の魅力を多くの人に広めたい

会社では「サイクルモード（自転車関係展示会）」に出展し、自転車の魅力を広く発信。また、展示会で求人を出すこともあり、それがきっかけで入社した社員もおられるそう。自転車好きが高じて入社したり、入社後、自転車が趣味となったりする社員も多いとのこと。なかには、タイヤの試用と趣味を兼ね、パナレーサーのタイヤを履いた自転車で通勤する社員も。「地元の方々にも、もっと自転車に親しんでほしい」とおっしゃいます。

車で普段出かけることが多いみなさん、週末にはメイドイン丹波のタイヤを履いた自転車に乗って、風を肌で感じてみませんか!?

わが社のきらめく「丹波人」

「休日は、川代公園や薬草公園、遠くは京都までもツーリングします！」と藤本さん。「サイクルショーで見かけた求人がきっかけで入社しました。会社ではイベントも開催しています。ぜひ参加してください」と安堂さん。二人はともに技術課で活躍中！

左から、安堂さん、藤本さん

自転車通勤される社員のみなさん。さっそうと風を切って走り姿はとてもさわやか

［会社概要］

- ■所在地　氷上町石生 250
- ■電話番号　82 - 6563
- ■ホームページ　http://panasonic.co.jp/ppt/
- ■主な事業内容　自転車タイヤ・チューブ・工業用品 精密樹脂製品・ゴム部品の製造
- ■従業員数　116 人

ちーたん日記

「4月8日（日）福知山お城まつり」

福知山の城下町にゆるキャラたちが大集合した んだ。チビッ子たちもお父さんやお母さんもおお はしゃぎで、とってもにぎやかなお祭りだったよ。 もちろんちーたんグッズも大人気で、新発売のちー たんハンドタオルも売り切れたんだ。最後には、 パレードでゆるキャラたちと福知山のまちをあるいたよ。そしたらね、沿道のあちこちから「ちーたあん！」ってたくさんのお友だちが声をかけてくれるんだ。あっちを向いたりこっちを向いたりで大いそがしだったよ。とっても楽しかったな～！

たくさんのお友だちに会えて、とってもうれしかったよ！

「4月19日（木）市内保育園訪問」

市内の保育園に「入園おめでとう！」のお祝い に行ったんだ。ちーたんもスモックに黄色の帽子 と、バッグをさげて、みんなといっしょだよ～！体 はちっちゃいけれど、みんな元気いっぱいなんだ。 保育園、幼稚園で楽しく過ごして大きくなれ～！

「4月29日（祝）ちーたんフォトスタンドづくり」

ゴールデンウィークに、ちーたんのフォトスタン ドづくり教室がひらかれたんだ。ハサミでちーた んの写真を切り抜いて、たたまるとぉ…ほら、とっ ても簡単にかわいいちーたんのフォトスタンドの できあがり！ステキ～！それ からね、ちーたんのなりきり キャップをかぶって、ちーた んと写真をとれるコーナー もあったんだよ。ちーたんと とった写真をいれて、お気に いりの場所にかざってね！

ステキな写真がいっぱいとれたね！

来月号の『ちーたん日記』もお楽しみに！

「パン作り」　ちーたん／作

交通ルールを守ろうね☆

まちづくり指導員が個性豊かな地域づくりをお手伝い
みんなで育もう ちいきの輪⑦

「地域とともに…こちら、まちづくり指導員です！」地元の宝物を生かした地域づくりはいかがですか？

（聞き手：まちづくり指導員　荒木伸雄）

今月は、市島支所の川浦弘貴指導員を訪問しました。企業にお勤め後、廃校を利用した子ども自然体験塾や他市の社会教育指導員などを経験し、現在は、市内でブルーベリーなどを中心に農業もされています。ある日訪れた丹波が大好きになり、Ｉターンで移住され５年になるそうです。

「丹波市は、地域財産の宝庫だと思います。自然や文化、神社・仏閣、歴史、そして人…道端の石碑一つにも豊かな丹波を感じます。地元のみなさんには当たり前すぎて、意外とその一つひとつの魅力に気づかないのかもしれませんね。このどっさりある宝物を活用しない手はないですよ」と移住者ならではの視点で丹波市を語る川浦さん。

最初は、地域づくりの意味を伝えるのが難しかったそうです。「地域づくりは“人づくり”。さまざまな情報を発信しながら、地域に関心をもち、地域の課題を解決していく人をひとりでも多くつくること…それがまちづくり指導員の仕事です」と笑顔で話されました。

自治協議会へ訪問中の川浦指導員（写真右）